



庄野真代

庄野真代(しょうの・まよ) 歌手・作詞作曲家
 大阪出身。1976年フォーク音楽祭をきっかけに、日本コロムビアからデビュー。
 1978年「飛んでイスタンブール」「モンテカルロで乾杯」などが大ヒット。
 ニューミュージックを代表するシンガーとして活躍。作曲、執筆、舞台演劇など多方面での活動も多い。
 近年はジャズ、ラテン、タンゴなどの音楽家との共演を行っている。
 2020年にはポップミュージックへの原点回帰をはたす最新アルバム「66」を発表。
 2021年デビュー45周年をむかえ、12枚組の記念CDBOXをリリースした。
 今も褪せぬ軽やかな歌声と音楽性で日本のAORとして、評価がふたたび高まっている。

1979年CBSソニー「第1回SDオーディション」に合格。1981年『メモリーグラス』でデビュー。「第1回日本作曲大賞優秀曲賞」受賞、「第14回日本有線大賞新人賞」受賞、「第14回全日本有線大賞 新人賞」受賞。
 昨年リリースした堀江淳が歌う童謡・唱歌のCDアルバム「四季の音色」は世代を超えて楽しめる今までにないアルバムと好評を得る。(FEAT ひばり児童合唱団)
 「堀江淳のファインミュージックアワー」はコミュニティーFM(全国62局)で放送中。
 最近では年間100本以上のライブを行い、オリジナル曲は勿論、カバー曲、童謡・唱歌等を交えたステージで幅広い年齢層に支持されている。



堀江淳



告井延隆

ミュージシャン(ヴォーカリスト、ギタリスト)。
 ロック・バンドであるセンチメンタル・シティ・ロマンスの元リーダー。
 センチメンタル・シティ・ロマンスの活動以外にも様々なアーティストへのライブ・サポート、レコーディング、編曲をつとめる。現在は主に『Sgt. Tsugei's Only One Club Band』としてソロ活動、および加藤登紀子のサポートを行なっている。
 『Sgt. Tsugei's Only One Club Band』とは、告井延隆によるアコースティックギター1本でザ・ビートルズの完全コピーを目指したソロ・プロジェクト。
 2008年にソロ活動を開始して以来、4枚の自主制作盤を次々と発表。
 2013年2月2日『THE BEATLES 10』を(株)ピンポイントより発売。
 「ビートルズの弾き語らず」スタイルを確立し、アコースティック・ギター1本で全国を飛び回っている。趣味は将棋。

1971年10月、元ザ・リガニーズの常富喜雄、内山修、そして田口清によって結成。
 1972年8月に吉田拓郎プロデュースで、CBS Sony オデッセイレーベルより発売された「雪」がスマッシュヒット。その後「地下鉄にのって」「各駅停車」「僕のエピローグ」などのオリジナルティーン豊かな作品と、4枚のアルバムを残し、1975年春に惜しまれつつ解散。
 30年後の2004年秋、再び音楽ファンの前に登場した。
 再結成後は主に100本近くのライブを行うツアー中心の活動と、音楽制作に特化した活動を続ける。猫5、猫六の2枚のアルバムを制作し発売。2020年、「Shangri-La」の日暮風太が参加し、中心となって制作したアルバム「NEKO 7」完成。



猫



いわさききょうこ

東京は下町生まれ育ちの旅人シンガーソングライター。
 2020年までに60~70年代の作品のカバーアルバムを含む8枚のアルバムを制作。
 2021年には3年ぶりとなるフルアルバム『かっぱが飛んだ空』、2枚組Liveアルバム『Live in the Garage 2021』をリリース。
 舞台音楽、映画音楽、CM音楽制作(JASRAC/松屋/双葉運輸)なども精力的に行う。
 2013年より全国津々浦々へ、年間150本程度のツアーを開始。
 短編映画『Bird Woman』(大原とき緒監督)にBlack Bird役にて出演。
 劇中歌として「青空でなくてかまわない」を書き下ろし、弾き語りした。